

# JEITAナノエレクトロニクス技術フォーラム —ナノエレクトロニクスの研究開発と国際標準化—

■主 催：一般社団法人 電子情報技術産業協会／知的基盤部（技術戦略G）

■企 画：技術戦略委員会／ナノエレクトロニクス研究会  
標準化政策委員会／ナノエレクトロニクス標準化専門委員会

■参加者数：約90名

## 概 要

ナノエレクトロニクスは、革新的な技術の中でも特に、従来のエレクトロニクスの機能を格段に向上させ、かつ大幅な省エネルギーを実現できるキーテクノロジーとして期待されており、JEITAでは、当該分野の開発動向調査及び標準化活動等、ナノエレクトロニクスに関する様々な取り組みを実施しております。今回のナノエレクトロニクス技術フォーラムは、国際標準化にスポットを当てて、我が国の産業界のために国際的にご活躍されている方々から、貴重な講演を頂きました。

最初に、当技術フォーラムを企画した技術戦略委員会／ナノエレクトロニクス研究会主査の大谷成元氏(株)富士通研究所)から、開催のご挨拶並びにJEITAの活動紹介がありました。

講演では、最初に経済産業省／産業技術環境局情報電子標準化推進室の福井正弘課長補佐より、国際標準化の重要性とナノエレクトロニクスへの期待が述べられました。

(独)産業技術総合研究所／吉田郵司氏からは、有機薄膜

太陽電池の研究開発動向の紹介と共に、国際標準化の最近の動きについてご講演頂きました。

慶應義塾大学(TC113国内審議委員会委員長)／栗野祐二氏からは、戦略的国際標準化加速事業によるテーマ探索から国際提案に至るまでの紹介、(社)ナノテクノロジービジネス推進協議会／林正秀氏からOECD／WPMN、ISO／TC229等の状況についての紹介、(独)産業技術総合研究所／二瓶瑞久氏からは、IEC／TC113にて作成された「ナノエレクトロニクス標準化ロードマップ」のご紹介を頂きました。

最後に、ナノエレクトロニクス標準化専門委員会委員長の萬伸一氏(日本電気株)から、講演者に対する感謝の意が述べられると同時に、関連企業に対して国際標準化活動の重要性をご理解頂き、標準化専門委員会への参加を歓迎する旨の紹介がありました。

JEITAでは、今後も産業界発展に向けた有益な業界活動を実施していきたいと考えておりますので、企業の皆様の積極的なご提案・ご要望を賜りましたら幸いです。



会場風景



吉田郵司氏

## プログラム

【司 会】遠藤浩幸 氏 ナノエレクトロニクス標準化戦略小委員会 主査（日本電気株）

○開会の挨拶

大谷成元 氏  
ナノエレクトロニクス研究会 主査（株）富士通研究所

○国際標準化の重要性とナノエレクトロニクスへの期待

福井正弘 氏  
経済産業省 産業技術環境局情報電子標準化推進室 課長補佐

○有機薄膜太陽電池の研究開発の最新動向と標準化活動

吉田郵司 氏  
(独)産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター 研究チーム長

○有機/ナノデバイス計測に関する標準化について

粟野祐二 氏  
慶應義塾大学 理工学部 教授 (IEC TC113国内審議委員会委員長)

○欧州のナノテクノロジー規制動向と標準化

林 正秀 氏  
(社)ナノテクノロジービジネス推進協議会 事務局長

○ナノエレクトロニクス標準化ロードマップについて

二瓶瑞久 氏  
(独)産業技術総合研究所連携研究体 グリーン・ナノエレクトロニクスセンター 特定集中研究専門員  
(ナノエレクトロニクス標準化ロードマップTG 主査)

○閉会の挨拶

萬 伸一 氏  
ナノエレクトロニクス標準化専門委員会 委員長（日本電気株）